



## 外国出張報告書

平成 26 年 4 月 30 日

1. 出張国名        ブラジル
2. 出張月        平成 26 年 1～3 月
3. 出張目的       畑作安定供給プロジェクト    : B
4. 成果の概要

2010/11 年の大豆作期中に、ブラジル、Embrapa 大豆研の圃場より採集したダイズさび病菌 2 サンプルの病原性を評価した。これまでに病原性を評価した同一作期、同一圃場由来するさび病菌 8 サンプルと比較したところ、さび病菌個体群サンプル間で病原性変異が検出された。また、2007/08 年作期のブラジル Vilhena のさび病菌サンプルから調製した単病斑分離菌株の病原性を評価し、その他の単病斑分離菌と比較したところ、同一個体群内に異なる病原性のさび病菌が含まれていることが明らかになった。さび病菌を同一ダイズ品種上で繰り返し増殖させた場合のさび病菌個体群の病原性に与える影響を調査するために、高度感受性品種 BRS 154 上で 4 回繰り返し増殖させて得た夏胞子の病原性を評価した。現在までに、BRS 154 上で繰り返し増殖させることによるさび病菌の病原性への影響は認められていない。